

4月	矢作川 愛護モニター報告	モニター区間	矢作川:左右岸 15.0km~21.0km 管轄出張所:岡崎・安城出張所
実施日	令和 6 年 4 月 1 日	実施区間	17.0km ~21.0km (左岸)

河川堤防に群生、ニホンタンポポ 紅吉野(ヨウコウサクラ)は満開

4月に入った1日(月)、渡橋から左岸堤防に入り、美矢井橋付近までモニタリングを行いました(①)。春爛漫なので植物に目が行きました。河川敷の植物群は、まだ茶色が多く広がっていますが、堤防では群生するニホンタンポポが目につきました。昨年度も、この辺りの河川敷公園で多く見つけました(②)。さらに、堤防に並ぶ紅吉野(ヨウコウサクラ)の鮮やかなピンク色が心休ませてくれました(③)。

昨年の同時期には、紅吉野はほとんど残っていませんでした。

サイクリングを楽しむ人々 ウグイスのさえずり、心地よく

堤防で春の風を感じていると、小学生らしい男の子や元気な高齢者が自転車で通り過ぎました(③)。中年のご夫婦も仲良く散歩するなど、春の矢作川を楽しんでいました。

耳を澄ませていると、「ホーホケキョ」の鳴き声があちこちから、聞こえてきました。モニタリングは昨年に続いて2年目ですが、ニホンタンポポもウグイスも同じ所で、「遭遇」しました。

新たな河川敷グラウンド造成 意外に穴場、美矢井橋付近

美矢井橋を過ぎ、下流に向かって行く堤防は、ここ数か月「進入禁止」になっていました。ようやく、解除されたので進んでいくと、河川敷のグラウンドを整備している現場を発見しました(④)。以前から、この美矢井橋付近は立派な河川敷公園があったのですが、さらに少年野球などに使えるグラウンドができるようです。意外と穴場になるかもしれません。



①渡橋～美矢井橋間で大きく広がる河原



②堤防斜面に群生するニホンタンポポ



③堤防の紅吉野と自転車で快走する小学生、高齢者



④造成中のグラウンド(美矢井橋下流付近)

河川愛護モニター	
----------	--